

法
少
大
美
少
秘
人

紅
葉
集
行

身
七
海
心

^ 13
3700
4





美少年
年
雄

七編上

冊八 13
 聖子春
 4
 設市

美少年始第七編
 上

十返舎一九操觚
 一雄齋國輝画圖

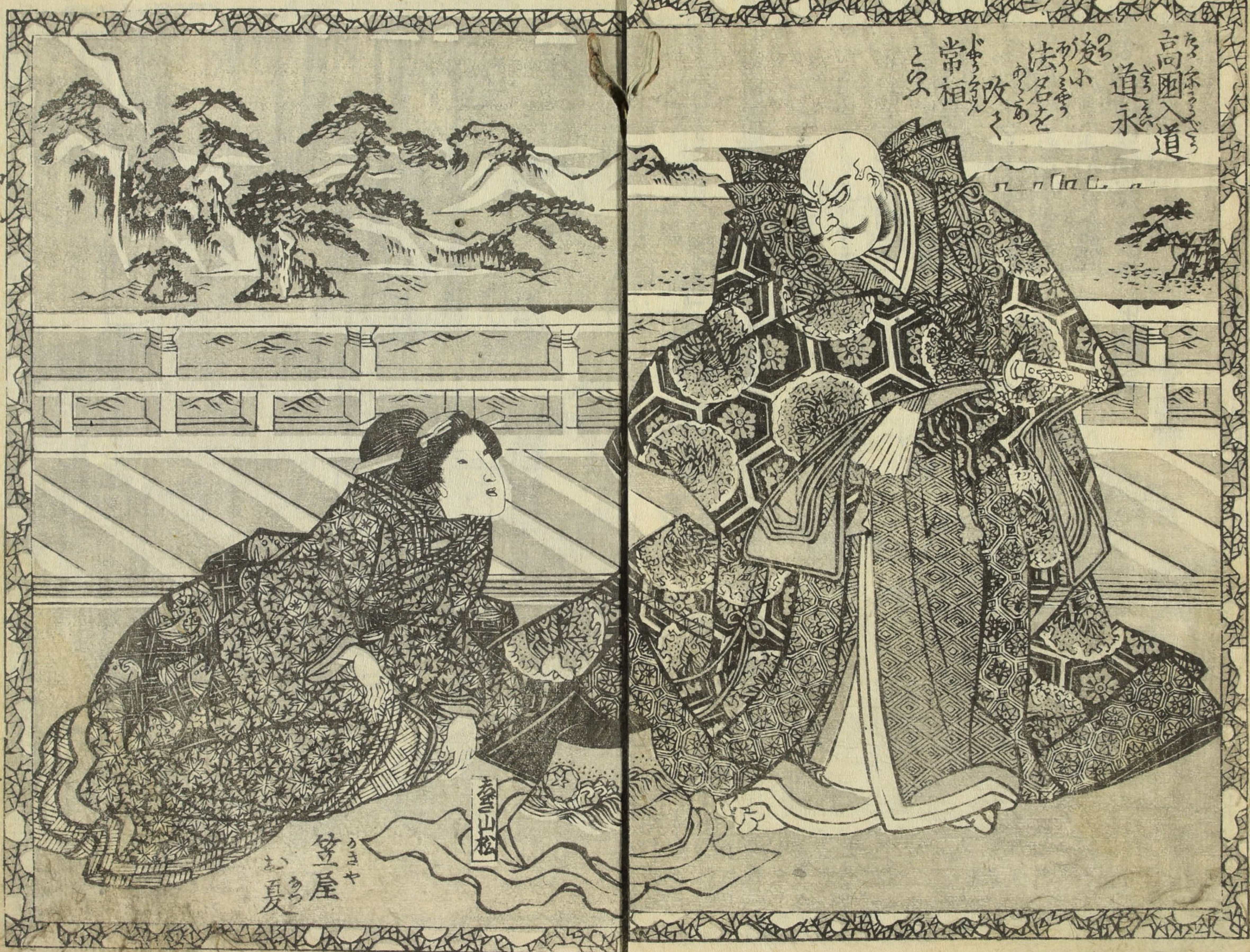


御覽美少年始第七編
 十返舎一九操觚
 一雄齋國輝画圖

此の序のついでに
 親小告ぎしく取るるを
 非礼の礼とのみから野合
 所を得る男女の情慾
 果せる哉現身と捨る溝
 壑は只子と棄る教の
 下の親子の薄命又
 云々うらば爰ふか夏五郎
 多か恋溺の嬉楽なく
 筆と止終と全甘なるハ
 是原本と擬とまればり



溫柔
 長者風
 不好
 言人悪
 中納言
 垂頭御



高田入道
法名を改め
常相と号す

お夏
笠屋

春山松



杉木の
斧の
柄

末松珠之助

香西四郎左衛門
門尉元盛

流書

二

あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ

あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ

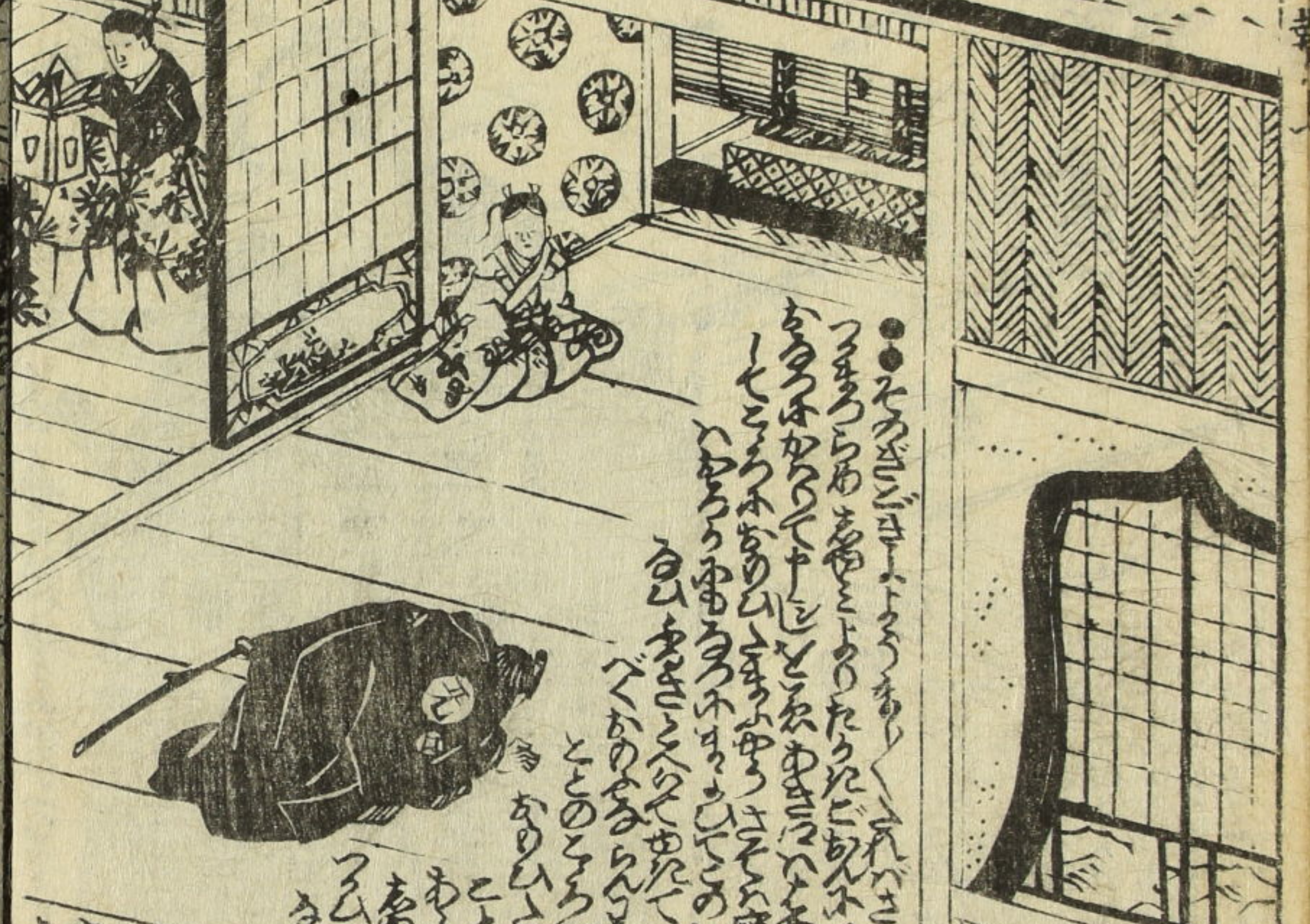
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ

あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ



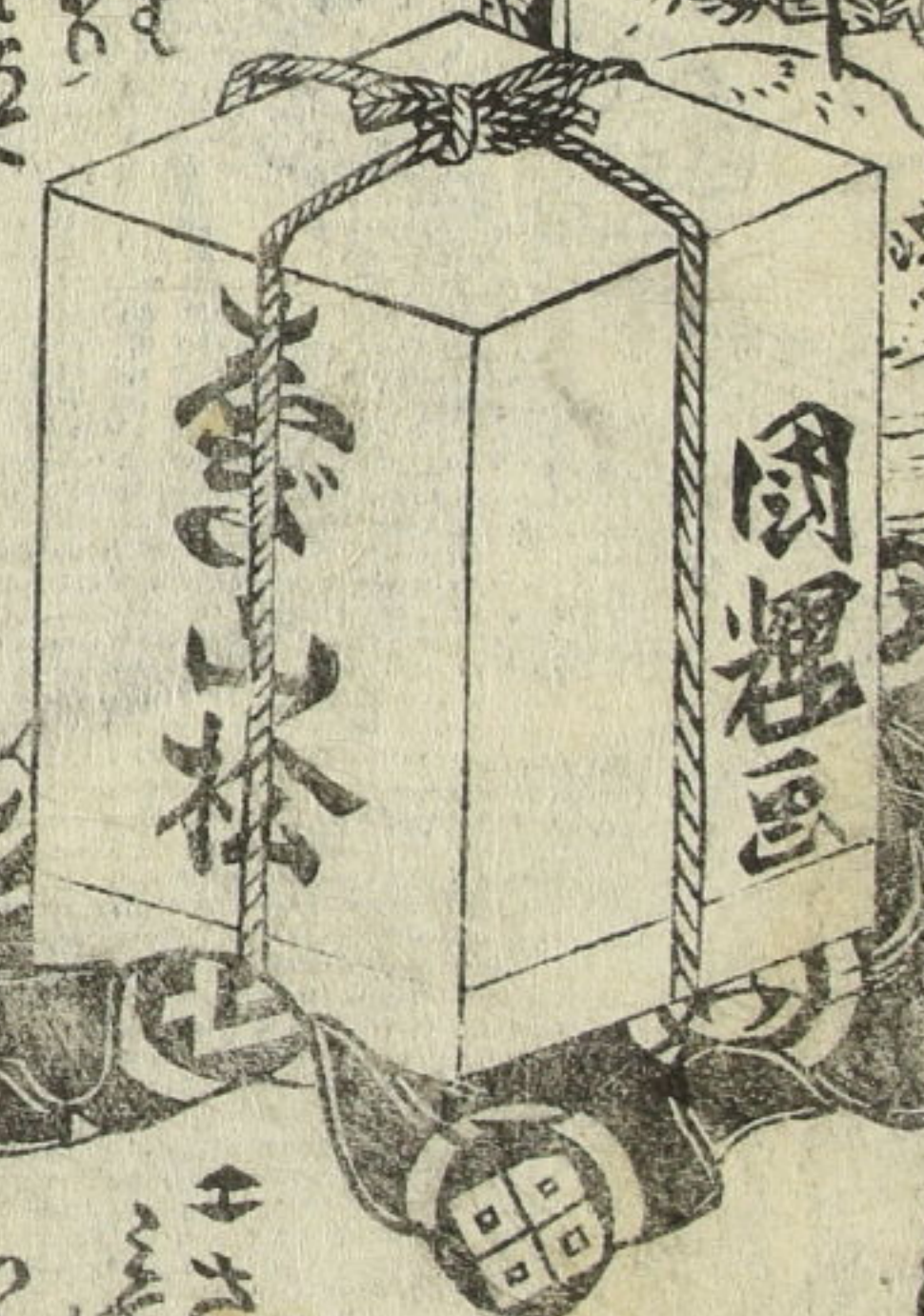
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ

あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ



あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ
あつたけりも
盛成のり
うんふふ

一九 操航



浄書 金川

此の茶は... 操航... 一九... 此の茶は... 操航... 一九... 此の茶は... 操航... 一九...

此の茶は... 操航... 一九... 此の茶は... 操航... 一九... 此の茶は... 操航... 一九...

本家 實母散

此の散は... 實母散... 本家... 此の散は... 實母散... 本家... 此の散は... 實母散... 本家...

せんきのゆき

御免 菰積湯 せんきのゆき... 御用薬所 信川 上田東山堂製

せんきのゆき... 一匁... 九日...

大日本國郡輿地全圖

六次

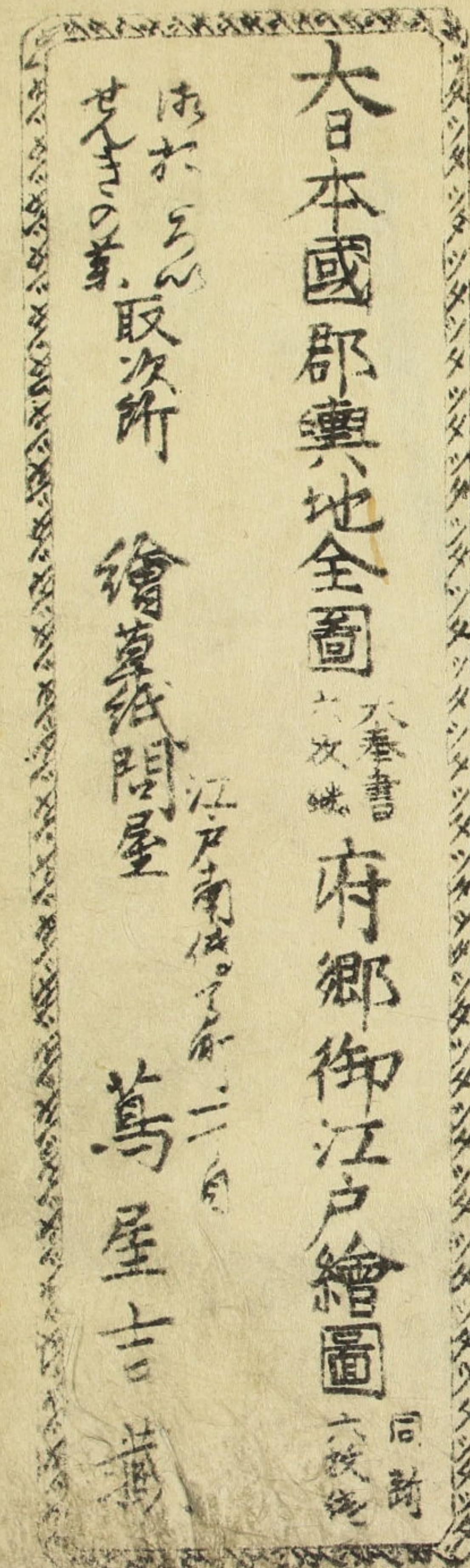
府郷御江戸繪圖

六次

取次所

繪巻紙問屋

萬屋吉



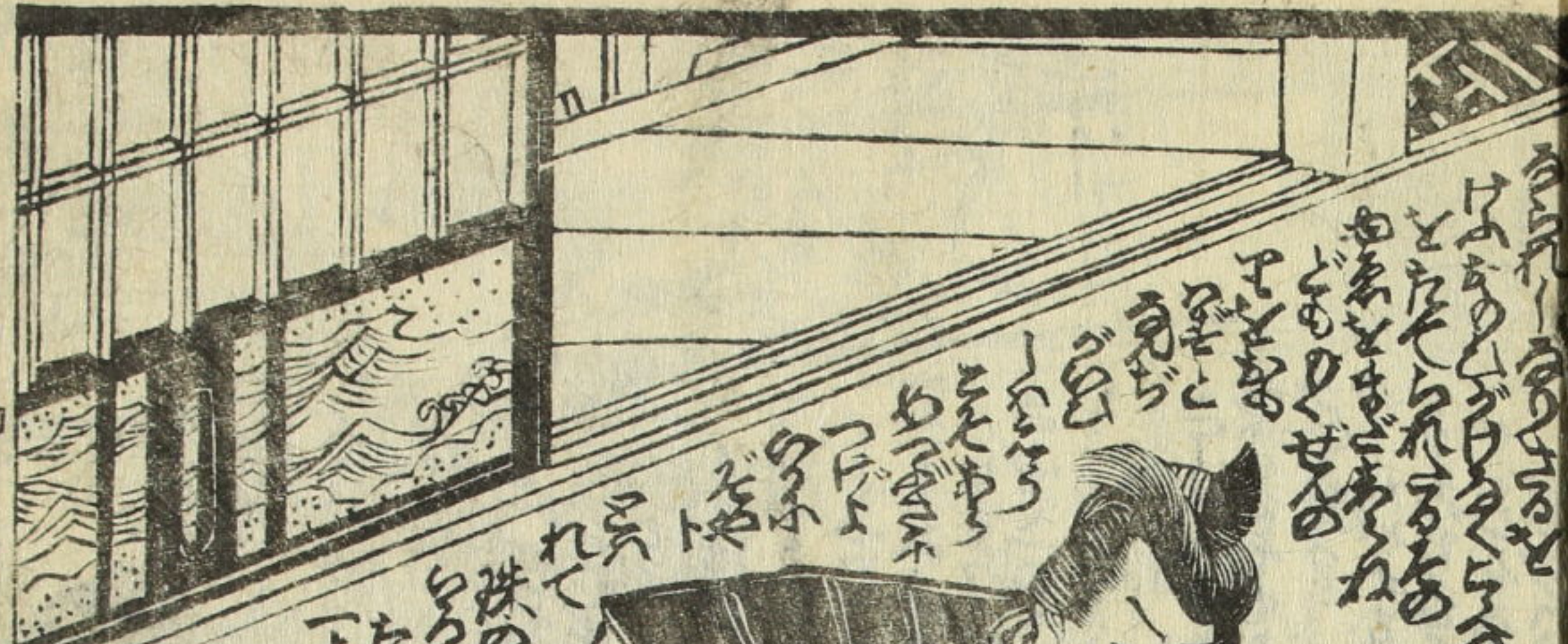


一九操
國輝画圖

七編下

紅英畫

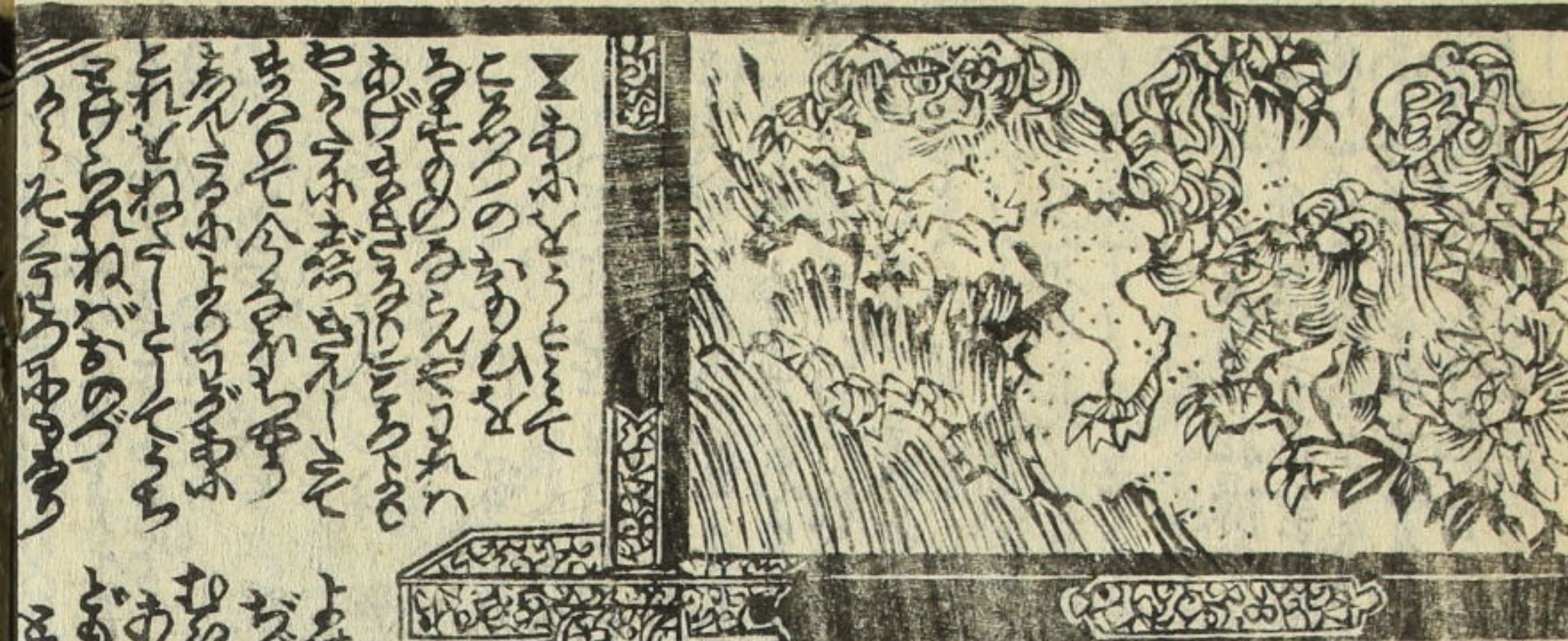




Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a monologue or dialogue, positioned to the left of the man's illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, positioned below the woman's illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, positioned to the right of the woman's illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, positioned below the woman's illustration.



此の御祭の御神輿に
 乗られたる御女は
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

御祭の御神輿に
 乗られたる御女は
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

御祭の御神輿に
 乗られたる御女は
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御
 御衣の御紋は
 御家の御紋に
 似せられたる御

〇あちの
 あちの
 ひろせ
 〇あちの
 あちの
 ひろせ
 〇あちの
 あちの
 ひろせ

一雄齋國輝画圖



十返舎一九操觚

嘉

六永

癸丑

新春

新

目録

大晦日堵卓紙 九編 芳綱画

八犬傳大糸紙 三編 豊国画

御誓美少年始 九編 西馬譯

俠客傳仙模略説 一編 西馬譯

鳥巡浪宵朝奈 五編 西馬譯

古今草紙合 九編 仙果作

連理切糸 四編 芳綱画

松浦船水棹婦言 二編 仙果録

八重撫子素物語 三編 西馬譯

花叢身梅雅物語 三編 西馬譯

春柳錦花四 五編 西馬譯

東都南傳馬町 二編 西馬譯

問屋葛屋吉藏板



透合一九作

八編上

補題周身

兩傳
葛原



御贄
美少年始
一九録
國綑画

身

八編

立上



紅英堂發行

御贄美少年始第八編序

盡書と信どれば書無きは多し。盡書を疑ふ書もたふ不如と孟子の
 金言われり哉。近世行つゝ繪草紙なる物悉皆寓言虚誕のや雖
 然人情世態をよくうつゝ亦るが如く又聞が如くあれは善をうてら
 うらんるをわめひ悪をうてらひん事と願ふされば珠之介の倭奸あるを夏
 貞操の死誰の是とよこるとんや此書先始ふ悪少年と出ると悪を懲
 後ふ信の美少年と出ると善を勸む楷榊とあるとんとは是作者の
 老成安心する友人十返舎ぬし書房の需とせぬが事と得と
 曲亭が作意を操航吏音管拙しとや笑あらんやされど此草紙
 入も善を勸む人も悪を懲む人も又是大なる幸甚らるる鬼
 の角も戯作者の世も落つとと自誇らぬあつとと興成志

嘉永六年癸丑発市

半文舎可笑述





吉野
六田川
如来禪師

初名珠之介
朱之介晴賢



室津傾城

扇谷
修理大夫
朝真



杣水
谷柄



吉野鷹山



怪妖山鷹捉

矢野
宗好



おのゝ右馬おのゝ
 賢いおのゝ
 国のおのゝ
 水のおのゝ
 いのおのゝ
 けのおのゝ

おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ

おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ

おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ

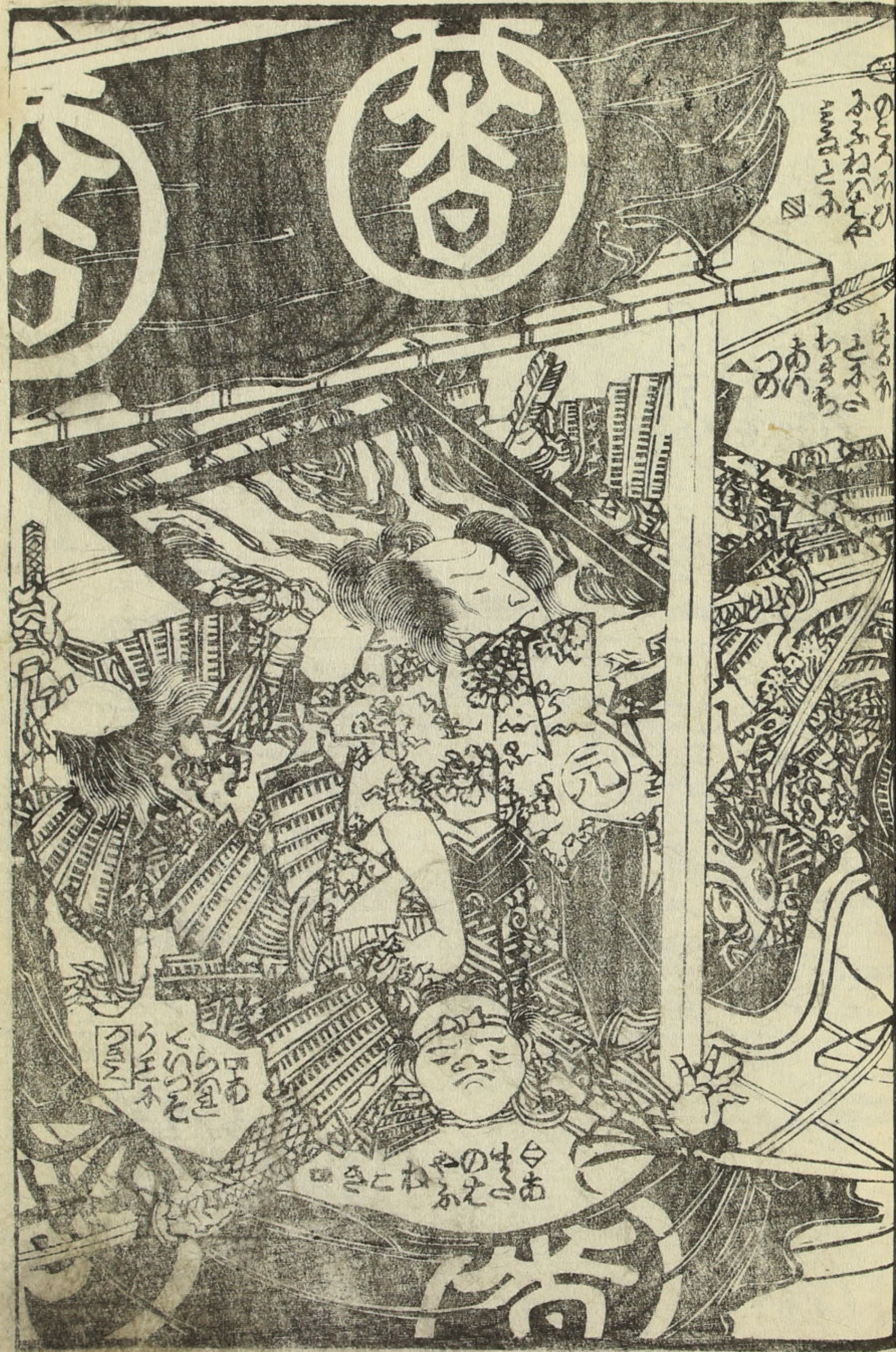


おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ

おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ
 おのゝおのゝ



佳
舞
八



從 寶 八

七



此の虫は
 人の背に
 寄つては
 毒を吐く
 故に人を
 苦しむ

此の虫は
 人の背に
 寄つては
 毒を吐く
 故に人を
 苦しむ



此の虫は
 人の背に
 寄つては
 毒を吐く
 故に人を
 苦しむ

此の虫は
 人の背に
 寄つては
 毒を吐く
 故に人を
 苦しむ

待 幸 齋

この世の世に... 待幸齋の御用薬所... 信州上田東山堂製



元も... 珠... 歌川國綱画圖

歌川國綱画圖
十返舎一九操觚

本家 實母散

松方実母さん... 向方さん... 御免 痲積湯

中 稿

南傳馬町二丁目東側 十葉堂孝輔製衣

せんきののゆ系

御用薬所

信州上田東山堂製



せんきののゆ系
おろし... 一匁
おろし... 四十八匁
おろし... 一匁
おろし... 九十四匁

大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚綴

府郷御江戸繪圖

同新 六枚綴

おろし... せんきのの茶 取次所

繪草紙問屋

葛屋吉藏

江戸南傳馬町二丁目



美少年始年

歌國綱画

八編下





徳 義 八

十一



Vertical Japanese text columns on the left page, likely a narrative or dialogue.

高田 十六



Vertical Japanese text columns on the top right page, likely a narrative or dialogue.

Vertical Japanese text columns on the bottom right page, likely a narrative or dialogue.

高田

十六

ついでにのよみ三石のり
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき

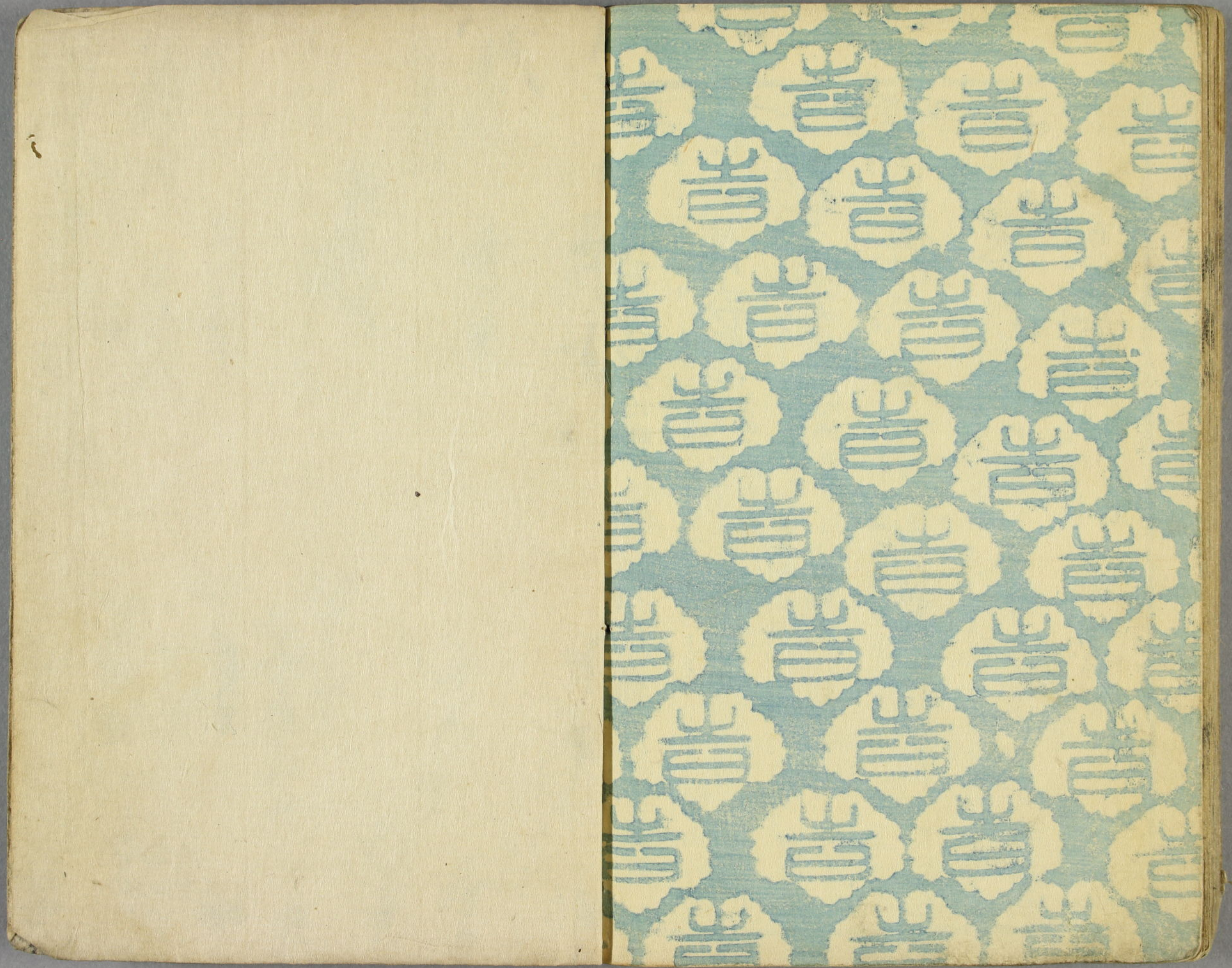
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき



あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき



あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき
あし赤松城かしのせき





御覽
八編

美少

年始

十進全

録

歌川國經



紅葉堂

藏

